

## 令和3年度一般会計当初予算説明資料

10款 教育費  
6項 社会教育費  
3目 博物館費

博物館（電話：0857-26-8042）  
（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
企画展開催費	〔債務負担行為〕 95,000 79,048	〔債務負担行為〕 90,000 77,735	〔債務負担行為〕 5,000 1,313			〈使用料1,540 諸収入12,840〉 14,380	〔債務負担行為〕 95,000 64,668	
トータルコスト	146,120千円（前年度 144,160千円）〔正職員：5.5人、会計年度任用職員：8.3人〕							
主な業務内容	企画展の開催							
工程表の政策内容	博物館機能の充実							

## 事業内容の説明

## 1 事業の目的、概要

鳥取県の自然・歴史・美術分野の資料、作品、研究成果等や世界的・全国的に貴重な作品等について、企画展として広く県民に紹介する。

## 2 主な事業内容

（単位：千円）

企画展名（仮称）	予算額	会期（予定）	内容
受贈記念 垣田堅二郎コレクション展	5,430	4月10日～5月9日	令和2年度、垣田堅二郎氏（倉吉市）より160点余の美術作品を寄贈いただくことになった。この受贈を記念して、コレクションに収められたジョルジュ・ルオーから菅井汲（すがい・くみ）にいたる内外の版画の名品を一堂に紹介する。
QooDZILLA!! クジラとイルカの世界	21,732	7月17日～8月29日	史上最大の動物であるクジラ類について、海中生活への適応、形やくらしの多様性、そして繁殖等の生々しい姿にもスポットをあて、その魅力を紹介する。
とっどりの乱世—因幡・伯耆からみた戦国時代—	19,914	10月9日～11月7日	県内外に伝わる古文書・武具・絵画・資料等を一堂に集め、鳥取県の戦国時代史を読み解くとともに、鳥取藩池田家やその藩士たちの戦国時代の事績や、城郭・郷土刀剣等に関わる最新研究成果も紹介する。
～SOMPO美術館&鳥取県立博物館のコレクションでつくる～東郷青児、前田寛治と、Parisゆかりの画家たち	14,477	11月20日～12月26日	東京のSOMPO美術館と当館の所蔵品から、東郷青児（とうごう・せいじ）と前田寛治（まえた・かんじ）の代表作を紹介するとともに、藤田嗣治（ふじた・つぐはる）や佐伯祐三（さえき・ゆうぞう）らパリに学んだ日本人画家たちの作品、さらには若き彼らに影響を与えたクールベ、ルノアール、ゴーギャン、ピカソといった巨匠たちの作品を紹介する。
小早川秋聲展	16,166	令和4年2月11日～3月21日	鳥取県に縁の深い日本画家、小早川秋聲（こばやかわ・しゅうせい）は近年、従軍画家としての画業が注目されており、戦前にかけて欧米・アジア各地を巡歴し、豊かで多彩な作品を数多く残している。本展では画業初期から晩年に至るまでの代表作や資料を基に“異色”の日本画家、秋聲の全貌に迫る。
令和4年度当初開催企画展開催準備	1,329		令和4年度当初に開催する企画展の開催準備に要する費用である。（チラシ、ポスター等のデザイン委託、印刷経費）
合計	79,048		

※会計年度任用職員の人件費は、教育人材開発課の職員人件費に計上。

## 3 債務負担行為 令和4年度 95,000千円

企画展名称（仮称）	会期（予定）
三蔵法師がやってきた 奈良・薬師寺の名宝とともに	令和4年4月9日～同年5月15日
ティラノサウルス展～T. rex 驚異の肉食恐竜～	令和4年6月18日～同年8月28日
すべて見せます！鳥取県立博物館の50年	令和4年10月29日～同年12月11日
日本に彫刻家が誕生した—近代彫刻の黎明期における実践の状況	令和5年1月28日～同年3月21日

## 4 事業目標・取組状況・改善点

## &lt;事業目標&gt;

- ・ 収集・保存、調査研究の推進による展示内容の充実を図る。
- ・ 県民の豊かな学びを支援する。
- ・ 調査研究を行い、新たな知見を紹介する。

## &lt;取組状況&gt;

鳥取県の自然・歴史・美術に関する知見や新しい研究成果及び普段ふれることのできない世界的・全国的に貴重なものなどを、企画展として広く県民に紹介してきた。

## &lt;改善点&gt;

- ・ 企画展への来場者をより多くし楽しんでいただくため、報道機関と実行委員会形式で開催する企画展のさらなる拡充や、SNSを活用した情報発信のさらなる強化を図る。

## 令和3年度一般会計当初予算説明資料

10款 教育費  
6項 社会教育費  
3目 博物館費

博物館（電話：0857-26-8042）  
（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
博物館運営費	110,471	90,272	20,199		<6,300> 9,000	<使用料2,849 財産収入1,251 諸収入1,297> 5,397	96,074	県費負担 102,374
トータルコスト	170,697千円（前年度 149,893千円）〔正職員：4.6人、会計年度任用職員：8.4人〕							
主な業務内容	会計事務処理、来館者対応、防虫・防菌対策							
工程表の政策内容	博物館機能の充実							

### 事業内容の説明

#### 1 事業の目的、概要

利用者に快適な鑑賞環境を提供するために施設の維持管理を行い、来館者サービスの一層の向上につながるよう来館者等からの意見を聞きながら博物館を運営するとともに、博物館が収蔵している約25万点におよぶ資料を害虫やカビ類などから守るための被害調査や防除対策を行う。

#### 2 主な事業内容

（単位：千円）

区分	予算額	内容
管理運営費	99,459	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各種設備等管理・保守等業務委託費</li> <li>・博物館運営に係る光熱水費及び施設修繕費</li> <li>・鳥取県立博物館振興会（ミュージアムショップ運営団体）補助金</li> <li>・全国博物館協会等加入負担金</li> <li>・鳥取県情報ハイウェイへの接続</li> <li>・庭園・駐車場の外灯の更新（臨時）</li> <li>・その他一般事務費</li> </ul>
博物館協議会開催費	1,007	・博物館運営に関する意見聴取等
広報その他事業費	7,127	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各種展示等広報及び企画展図録作成経費</li> <li>・図書資料の購入経費</li> </ul>
収蔵資料管理費	2,878	・防虫・防菌対策
合計	110,471	

※会計年度任用職員の人件費は、教育人材開発課の職員人件費に計上。

#### 3 事業目標・取組状況・改善点

##### <事業目標>

博物館の円滑な運営のため、来館者への応接、施設・整備の維持管理等を行う。

##### <取組状況・改善点>

- ・新型コロナウイルス感染症対策として、検温システム・手指消毒液及びパーテーション等を設置し、安心して来館していただけるよう環境整備を行った。
- ・来館者へのアンケートを通して要望等を聞きながらサービス向上に向けて取り組んでおり、博物館全体に対する満足度はかなり高く、好評を得ている。
- ・今後の広報活動について、範囲を拡充するとともに、より早い時期から実施していく。
- ・日常的な温湿度管理、害虫等の監視や侵入防止に努めるとともに、温湿度等のモニタリング結果を踏まえた毎月の対策会議の開催や定期的な館内一斉清掃等により、薬剤のみに頼らずに博物館資料の保全環境の維持・向上を図っている。
- ・引き続き現在の取り組みの維持・充実に努めるとともに、さらに効果の高い取組等を積極的に導入し、収蔵資料を的確に保全・管理していく。

(注) 起債欄の< >書きは交付税措置額を除いた額である。

県費負担額は、起債欄の< >書きの金額と一般財源の金額を加算した額である。

令和3年度一般会計当初予算説明資料

10款 教育費  
6項 社会教育費  
3目 博物館費

博物館（電話：0857-26-8042）  
（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
博物館交流事業	1,168	1,321	△153				1,168	
トータルコスト	3,544千円（前年度 3,682千円） [正職員：0.3人]							
主な業務内容	連絡調整等							
工程表の政策内容	博物館機能の充実							

事業内容の説明

1 事業の目的、概要

中国、韓国、ロシアの博物館（河北省博物院、国立春川博物館、アルセーニエフ名称沿海地方国立博物館）との交流や情報交換等を行う。令和3年度は新たにモンゴル国中央県立博物館を訪問し、交流の可能性等についての意見交換を行う。

2 主な事業内容

（単位：千円）

区分	要求額	内容
中国河北省博物院	443	河北省博物院を訪問し各館の活動内容や調査研究、特に歴史・民俗分野について意見交換等を行う。 〔平成10年6月 友好交流館として協定締結〕
韓国江原道国立春川博物館	231	国立春川博物館の職員を受け入れ、今後の両館相互の博物館交流、特に美術分野について意見交換等を行う。 〔平成22年12月 友好交流及び協力に関する協定締結〕 〔平成23年12月 職員相互派遣に関する合意書締結〕
ロシアアルセーニエフ名称沿海地方国立博物館	494	アルセーニエフ名称沿海地方国立博物館を訪問し、今後の両館相互の博物館交流、特に普及啓発活動について意見交換等を行う。 〔平成22年9月 友好交流及び協力に関する協定締結〕
(新)モンゴル国中央県立博物館	標準事務費で対応	令和2年度に引き続き、モンゴル国中央県立博物館との意見交換等の可能性を検討する。
合計	1,168	

※新型コロナウイルスの影響等を踏まえ、事業実施の可否を判断

3 事業目標・取組状況・改善点

<事業目標>

中国河北省博物院、韓国江原道国立春川博物館、ロシアアルセーニエフ名称沿海地方国立博物館との相互派遣を通じて、友好的国際交流の一端を担う。

<取組状況>

- (1) 中国河北省博物院との交流  
令和元年12月から令和2年3月まで「日本因州和紙芸術展」を河北博物院で開催し、当館所蔵の民芸芸品（因州和紙）を展示した。
- (2) 韓国江原道国立春川博物館との交流  
令和元年10月に当館職員が訪問し、美術分野を中心とした交流に関する協議を行った。
- (3) ロシアアルセーニエフ名称沿海地方国立博物館との交流  
令和元年12月に来県され、当館の企画展（塩谷定好展）・常設展をはじめとする各施設の視察や、交流協議を行った。

<改善点>

新型コロナウイルスの状況等を慎重に見極めながら今後とも交流推進課等の関係課とも連携をとりつつ、交流事業を進めていく。

## 令和3年度一般会計当初予算説明資料

10款 教育費  
6項 社会教育費  
3目 博物館費

博物館（電話：0857-26-8044）  
（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
自然事業費	5,363	6,173	△810				5,363	
トータルコスト	33,998千円（前年度 34,572千円） [正職員：2.9人、会計年度任用職員：2人]							
主な業務内容	学芸業務（常設展示、資料収集、研究相談等）							
工程表の政策内容	博物館機能の充実							

事業内容の説明

### 1 事業の目的、概要

自然資料（地学・生物）の収集・保存と調査研究を行い、展示と教育普及活動を推進する。

### 2 主な事業内容

（単位：千円）

区分	予算額	内 容
自然事業費	5,363	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自然資料の製作、購入、修復、および収蔵資料の保存、整理</li> <li>・ 収蔵資料に関する調査研究</li> <li>・ 常設展示の更新とメンテナンス</li> <li>・ 移動博物館や派遣講座等</li> </ul>
(新)貝類標本整理事業	—	会計年度任用職員（1年次／3年次画）
合計	5,363	

※会計年度任用職員の人件費は、教育人材開発課の職員人件費に計上。

### 3 事業目標・取組状況・改善点

<事業目標>

- ・ 収集・保存、調査研究の推進による展示の充実。
- ・ 新たな知見を紹介し、県民の豊かな学びを支援する。

<取組状況>

- ・ 新しく収集した資料、および調査研究成果を常設展示の展示替えに反映させ、また移動博物館等に利用し、広く県民に紹介した。
- ・ 一部、新型コロナウイルス感染拡大防止に対応した展示に変更した。またSNSを利用した活動を行った。
- ・ 化石の展示を一部リニューアルした。
- ・ 貴重な寄贈コレクションの整理および調査を進め、その成果を展示等で紹介した。

<改善点>

- ・ コロナ禍においても対応できる、新しい展示や普及講座の在り方などの工夫を図っていく。
- ・ 鳥取県立博物館改修整備基本構想（中間まとめ）を踏まえた、収蔵資料の整理と充実、および展示計画等を行っていく。

## 令和3年度一般会計当初予算説明資料

10款 教育費  
6項 社会教育費  
3目 博物館費

博物館（電話：0857-26-8044）  
（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
人文事業費	11,263	12,268	△1,005				11,263	
トータルコスト	56,315千円（前年度 56,901千円）〔正職員：3.9人、会計年度任用職員：5人〕							
主な業務内容	学芸業務（常設展示、資料収集、研究相談等）							
工程表の政策内容	博物館機能の充実							

事業内容の説明

### 1 事業の目的、概要

人文資料（考古・歴史・近現代・民俗）の収集・保存と調査研究を行い、新たな知見や発見を分かりやすい形で展示したり、教育普及活動で紹介する。

### 2 主な事業内容

（単位：千円）

区分	予算額	事業内容
資料収集研究費	3,428	・資料購入などの収集、収蔵資料の修復や整理、資料価値を高める調査研究 ・「安達清風文書」整理・研究事業（3年事業の最終年）の調査研究、研究会開催、目録作成
常設展示費	999	・常設展示室の運営・維持管理・展示更新等（現状維持） ・資料購入などの収集、収蔵資料の修復や整理、資料価値を高める調査研究
藩政資料の活用事業費	6,836	・鳥取池田家藩政資料を計画的に補修して保存、情報発信
合計	11,263	

※会計年度任用職員の人件費は、教育人材開発課の職員人件費に計上。

### 3 事業目標・取組状況・改善点

<事業目標>

- ・ 収集・保存、調査研究の推進による展示の充実。
- ・ 新たな知見を紹介し、県民の豊かな学びを支援する。

<取組状況>

事業目標に向け、順調に推移している。今後も、収集方針に従った資料収集に努めると共に、計画的な保存、修復等に努め、しっかりとした調査研究に基づき、魅力ある展示等を実施する。

○調査研究成果や新収蔵資料、常設展示の展示替えに反映させ、広く県民に紹介した。

- ・ 歴史の窓「新収蔵コレクションお披露目展示—鳥取藩のお抱え力士たち—」
- ・ 歴史の窓「戦国時代の橋と軍事」
- ・ 歴史の窓「宇倍神社古墳—収蔵庫から発掘した因幡の古墳—」

○貴重な寄託・寄贈コレクションの整理および調査を順調に進めた。

- ・ 東京オリンピック出場選手資料（寄付）を企画展「輝いていた60's」で展示紹介した。

<改善点>

- ・ 調査研究等をしっかりと推進し、コロナ禍においても対応できる、新しい展示や普及講座の在り方などの工夫を図っていく。
- ・ 鳥取県立博物館改修整備基本構想（中間まとめ）を踏まえて、収蔵資料の整理と充実、および展示計画等を行っていく。

## 令和3年度一般会計当初予算説明資料

10款 教育費  
6項 社会教育費  
3目 博物館費

博物館（電話：0857-26-8045）  
（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
美術事業費	14,802	15,730	△928				14,802	
トータルコスト	39,357千円（前年度 44,030千円） [正職員：3.1人]							
主な業務内容	学芸業務（常設展示、資料収集、研究相談等）							
工程表の政策内容	博物館機能の充実							

事業内容の説明

### 1 事業の目的、概要

美術部門（絵画・彫刻・工芸・写真等）の資料の収集・修復、調査研究及び常設展示を行うとともに、資料収集・調査研究等を推進し、新たな知見や発見を分かりやすい形で展示等に反映する。

### 2 主な事業内容

（単位：千円）

区分	予算額	内容
資料収集研究費	11,338	<ul style="list-style-type: none"> <li>・美術事業や展覧会に関する調査研究</li> <li>・郷土の美術作家に関する調査研究</li> <li>・保存、展示のための資料修復</li> <li>・画廊、作家遺族、作家等からの情報収集及び資料収集</li> <li>・美術品収集に係る収集評価委員会の開催</li> </ul>
常設展示費	3,464	・近世及び近現代の美術資料の展示公開
合計	14,802	

### 3 事業目標・取組状況・改善点

<事業目標>

- ・ 県民の豊かな学びを支援する。
- ・ 調査研究を行い、新たな知見を紹介する。

<取組状況>

- ・ 事業目標を実現するため、調査研究や常設展示室での公開等、各事業中の作業を計画的に進めている。
- ・ 令和2年度の夏休みの展示「高田光治 森からの贈り物」では、会場には自然系の企画展「こんにちは、変形菌！」と連携した菌類や変形菌そのもの（乾燥済）を素材として活用する美術作家である高田氏の作品が並び、これまでにない美術と自然科学の視点を複合させたような刺激的な展示を展開し、美術ファン、自然ファン双方から、新しい展示として評価を得ることができた。

<改善点>

- ・ さらに資料収集・調査研究等を推進し、県民に新たな知見や発見を提供するために、より効果的な展示等を考えていく。

## 令和3年度一般会計当初予算説明資料

10款 教育費  
6項 社会教育費  
3目 博物館費

博物館（電話：0857-26-8044）  
（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
博物館普及事業費	7,319	10,011	△2,692				7,319	
トータルコスト	34,706千円（前年度 37,196千円） [正職員：3.1人、会計年度任用職員：1人]							
主な業務内容	博物館普及活動							
工程表の政策内容	博物館機能の充実							

事業内容の説明

### 1 事業の目的、概要

県民の生涯学習や学校教育を支援するために、各種の講座や体験学習会、移動博物館などを実施するとともに、博物館の活動、研究成果、利用方法などについて広く情報を発信する。

### 2 主な事業内容

（単位：千円）

区分	予算額	事業内容
生涯学習支援	5,247	館内外で各種講演会、ワークショップ、観察会等を開催するとともに、博物館の資料や作品を県内各地で見学・鑑賞してもらう移動博物館・移動美術館を開催する。
学校教育支援	729	博物館資料の館内外での活用を促進すると共に、博物館の持つ専門知識や情報を学校教育活動やその対象となる児童生徒に提供する。 博物館と学校との連携推進に関連し「教員のための博物館の日」の開催及び「学校向け貸出し教材」を整備する。
情報発信	1,343	ホームページ等を通して、生涯学習支援、学校教育支援、博物館の収蔵品に関する情報を広く発信する。研究報告、普及誌等の印刷物の経費。
合計	7,319	

※会計年度任用職員の人件費は、教育人材開発課の職員人件費に計上。

### 3 事業目標・取組状況・改善点

<事業目標>

- 1 常設展示・企画展の充実、鳥取県教育振興基本計画に掲げた様々な活動の実現
- 2 楽しく学べる教育普及プログラムの充実、鳥取県教育振興計画に掲げた教育普及活動の実現
- 3 来館者サービスの向上

<取組状況>

- ・前年度の反省や各種アンケートの結果を踏まえ、より満足度の高いプログラムやワークショップを開催した。
- ・県民協力団体と連携した講座を開催した。
- ・企画展開連のプログラムを設定した。
- ・移動博物館、移動美術館を実施した。また、学校からの展示希望を「出前展示」として実施した。
- ・ホームページ、SNS等を積極的に活用した広報を展開した。

<改善点>

- ・コロナ禍においても対応できる、新しい展示や普及講座の在り方などの工夫を図っていく。
- ・イベントや講演会のオンライン開催など、より一層、様々なメディアの利活用を図っていく。

## 令和3年度一般会計当初予算説明資料

10款 教育費  
6項 社会教育費  
3目 博物館費

博物館（電話：0857-26-8042）  
（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
美術館・博物館等ネットワーク強化推進事業	1,410	879	531				1,410	
トータルコスト	6,163千円（前年度 5,601千円）〔正職員：0.6人〕							
主な業務内容	T.M.N.への補助業務、T.M.N.事務局としての指導員と加盟館等との連絡調整及び進捗管理							
工程表の政策内容	博物館機能の充実							

### 事業内容の説明

#### 1 事業の目的、概要

鳥取県ミュージアム・ネットワーク（以下「T.M.N.」という。〔※〕）が実施する、県内の美術館、博物館等における具体的な協力連携の取組、各館の歴史民俗資料の保存活用機能を向上させる取組を支援することにより、県内の博物館等の連携基盤を確立してネットワークの強化を図る。

※ 県内の博物館、美術館、歴史民俗資料館、考古資料館等が、相互連携を密にし、各館の運営や事業の発展と向上を図ることを目的として平成15年12月に設立した組織。事務局は県立博物館で、令和2年9月末時点で50館が加盟。

#### 2 主な事業内容

T.M.N.が行う次の事業を補助する。 （単位：千円）

区分	予算額	内容
T.M.N.への補助金交付	1,410	T.M.N.が加盟館を対象にして実施する次の事業に補助する。 1 美術館等協力連携推進支援事業 平成29年に策定した「T.M.N.美術館等協力連携計画」に掲げた方針を具現化する取組。 (1) 加盟館学芸員による専門部会（会議）の開催 (2) 加盟館学芸員の資質向上を目的とした研修会の開催 (3) 共同企画展の開催 2 博物館資料アドバイザー派遣事業 T.M.N.が委嘱した博物館資料アドバイザーを保存活用機能を向上させる取組を行う館に派遣し、歴史・民俗資料の整理・保管・展示等の改善に関する助言・指導等を実施する。 ※アドバイザーへの謝金等1/2支援

#### 3 事業目標・取組状況・改善点

##### <事業目標>

県内の美術館、博物館等の連携基盤の充実、およびネットワークの強化

##### <取組状況>

##### 1 美術館等協力連携推進支援事業

平成29年度末に「鳥取県ミュージアム・ネットワーク美術館等協力連携計画」を策定し、その後は具体的な取組を行っているところ。

##### 2 博物館資料アドバイザー派遣事業

4町で実施しており、各館の資料や収蔵施設の状況から進捗状況は様々であるが、北栄町では令和2年度で民俗資料の整理は終了し、古文書の整理活用に着手している。

##### <改善点>

##### 1 美術館等協力連携推進支援事業

共同企画展を開催・支援することで、より発信力を高めていく。

##### 2 博物館資料アドバイザー派遣事業

各歴史民俗資料施設の実情に応じて、サポートを行っていく。



令和3年度一般会計当初予算説明資料

10款 教育費

6項 社会教育費

美術館整備課（内線：0858-47-3011）

3目 博物館費

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
鳥取県立美術館整備推進事業	69,792	165,746	△ 95,954				69,792	
トータルコスト	93,555千円（前年度189,356千円）〔正職員：3人〕							
主な業務内容	PFI等事業、美術ラーニングセンター検討、「県民立美術館」普及啓発事業							
工程表の政策目標(指標)	未来を「つくる」県立美術館整備による文化芸術の創造・発展							

事業内容の説明

1 事業の概要

令和7年春に開館予定の鳥取県立美術館をPFI手法により着実に整備及び開館準備業務を進めるとともに、開館に向けて、美術館活動の効果を先行して波及させ、県民と連携した美術館づくりを行う。

2 事業内容

（単位：千円）

区分	予算額	事業内容
PFI等事業	64,780	○整備・運営経費（サービス対価） PFI事業契約に基づき事業者に支払うサービス対価（債務負担行為設定済） ○PFI事業を円滑に導入するための外部アドバイザーへの委託料 ○（新）県民が集う美術館建設着工の集い（仮） 建築作品紹介展示、記念講演会、伝統技能体験ワークショップ
「美術ラーニングセンター（仮称）」機能の充実に向けた検討事業	2,430	○小学校等の美術展への招待 ○対話型鑑賞ファシリテーターの養成（一般ボランティア、学生等） ○県立博物館所蔵作品の「コレクション宅配便」による鑑賞授業等 ○夏休み子ども向け企画「アートと出会う展覧会（仮）」の開催
「私たちの県民立美術館」普及啓発事業	2,582	○「県民とつくる県立美術館ができるまでを伝える」フリーペーパー『Pass me(パスミー)!』の発行 ○「県民立美術館」実現に向けた地域ネットワーク形成支援補助金 ・（新）美術館フィールド活用支援（県内建築関係学生との連携） ・地域団体等が行う活動支援
美術館等協力連携推進事業	※別事業に計上	○鳥取県ミュージアムネットワーク加盟の美術系文化施設の共同企画展、学芸員研修会の実施
美術部門アーカイブ資料整理員の配置	※人件費に計上	○美術図書資料、アーカイブズ資料の移管作業に向けた整理を行うための会計年度任用職員の配置
合計	69,792	

3 事業目標・取組状況・改善点

〈事業目標〉

- 令和7年春の開館に向けて、着実に事業を推進する。
  - ・令和3年12月 実施設計
  - ・令和4年1月 建設工事着工
  - ・令和6年3月 建物完成引渡し
  - ・令和6年度 建物枯らし期間・開館準備（収蔵作品移転等）
  - ・令和7年春 開館（令和6年度中）～令和22年3月末まで運営期間

〈取組状況・改善点〉

- 出前説明会等を通して整備運営計画の概要を広く県民に周知するとともに、「県立美術館と共に歩む中部地区の集い協議会」をはじめとする地域の方々と連携しながら取組みを進めており、コンセプトの一つである「県民がつくる美術館」の実現を図っている。
- 今後、ボランティア、友の会等の県民参画の仕組みを構築する過程で「県民・団体との対話会」を開催するなど、PFI事業者と一体となり、開館に向けて全県的な機運醸成を図る取組みを積極的に行う。